

開 心  
静 聴  
充 満  
献 身  
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

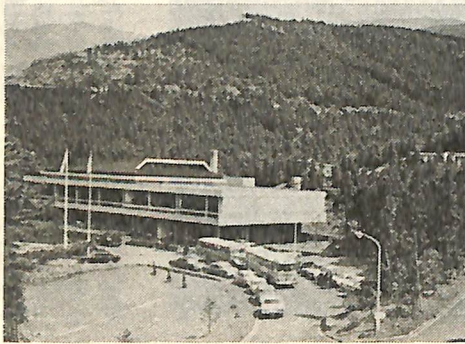
夏季号

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Summer 1978

The 3rd International Christian Ashram.  
October 4 (Wed) ~ 6 (Fri) 1978, Tozanso, Gotenba, Japan.



会場・東山荘本館

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

いよいよ三ヶ月後に迫る

## 第三回国際アシュラムへ

### 新しい求道心もて集まろう

予言者イザヤは言う。「草は枯れ、花はしぼむ。しかし我々の神の言は永遠に変わることがない。」

いよいよ時は満ちてきた。皆さまのお祈りによって準備は着々と進み、あと三ヶ月後の十月には、世界各国から、「イエスを主と仰ぐ」祈りの友を迎えて共に霊交の時を持つ幸いが待っている。

この世は罪のために刻々と崩

れつつあり、いつ終りの時が来るかわからないが、私たちに永遠に変わらない神の御言があるので心強い。私たちは御言を信じるだけでなく、更にそれを私たちの生命そのものとして受入れることができるようになりたいものである。

主題「今日における神の言」というのは、聖書を読むだけでも、研究するだけでも、また御言として静聴するだけでもなく、私たちの今日の生命となし、生活に具体化することである。個人生活に限らず、家庭生活、社会生活の中に御言の果が結ばれるように祈りたい。

そのためには私たちの各個教会も主イエスの御体の一枝として真実に福音の言に充満し、それに立脚し、全ての活動が御言の光に照らされて推進される教会へと改変されねばならない。

主のみもとに共に集まって、このために祈ろう。

(N・E)

編集人 海老沢 宣道  
発行人 大石 嗣郎  
定価 一部 50円 50円

山根可式著  
「アシュラムの恵」(百円)

### ▼総務部ニュース

故S・ジョーンズ師がこよなく愛された日本、そして日本の兄弟姉妹の手によって第三回国際クリスチャン・アシュラムをいよいよ来る十月四日・六日、御殿場・東山荘全館を借切って行うことになりました。第一回のイスラエル・エルサレム(一九七二年ジョーンズ師出席)第二回のインド・サツタル(七四年)に続いて今回が六年目ということは、予定から言うとかならずしも順当ではありません。S・ジョーンズ師亡きあと、新編成されたアメリカのアシュラム連盟の再三の要請により、条件としてインド・スエーデンのアシュラム兄弟姉妹を引き連れての異例のことで決定しました。ですから今回のような国際アシュラムは日本では最初にして最後になることでしよう。日本に居ながら国際級のアシュラムを経験することができますので、このチャンスを見逃さないよう是非ご参加をおすすめします。すでにアメリカに使者を二人も派遣し、綿密な計画を立てて皆さまのお出でをお待ちしています。何が何でも成功させたく参加不参加を問わず皆さまの物心両面のお助けとご理解を切にねがいます。(総務理事 大石嗣郎)

黙 想

アシュラムがしていること

連盟理事 後 宮 俊 夫

そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

使徒行伝一章四十二節

この聖句は、復活の主が天に昇られ、五旬節の日がきて、集っていた弟子たちに聖霊が下り、一同が福音を語り出した。これを聞いた人が、悔い改めてバプテスマを受けたが、三千人ほどの人が仲間に加わった。ここに最初の教会が誕生したのが、この人々がしていたことを要約して書かれたものです。

「ひたすら使徒たちの教を守り」とは今日で言えば聖書をしっかりと学ぶと言うことでしょう。日本の信徒は聖書研究に熱心であると言われます。確かに研究に熱心なのですが、「研究」と言う語に見られるように、対象として研究している性格が強いようです。研究ではなしに、「御言への静聴」が必要です。聖書を通しての、主から私への語りかけを聴くことが大切です。真実にイエスを主と仰ぐならば、主なるイエスに服従する必要があります。服従するためには、先ず聴くことが必要です。初代教会がひたすら使徒たちの教を守ったように、私たちは何よりも

先ず、御言の静聴をしっかりととして、その御言に従って行かねばならないと思います。

○

「信徒の交わりをなし、共にパンをさき」。このパンをさくことが、聖餐式を意味するのか、聖餐を含む愛餐を意味するかにについては、種々な論議があるようですが、四十三節から四十七節までの記事を見ると、信徒たちの共同生活を意味していると思われまふ。初代教会のこのような信仰による共同生活は、ほどなくかげをひそめたようです。今日の教会でも、信徒が共同であるものは、礼拝などその生活の一部だけになっています。しかし、真剣に信仰を求める時、共同生活の様式をとることが多くあります。各種の修養会とか、教職の共同研修とか、共同生活をしながら修練されています。

信徒の交わりは単なる共同生活でよいと言うことではありません。ヨハネの第一の手紙一章三節に、「わたしたちの交わりとは、父ならびに御子イエス・キリストとの交わりである」と言われているように、この交わりが確立されてそこに生じる信徒の交わりであります。イエス・キリストへの明渡しがなくては信徒の交わりは成り立ちません、だから

これも、キリスト者の生活に於て、欠いてはならないことなのです。

○

「祈」これについては、今更申すまでもありません。主イエスは気落ちせず絶えず祈ることを教えられ、また、その実践をされました。使徒書を見ても、祈りがなされ、祈りが勧められ、祈ってほしいと訴えられています。

○

これらの「ひたすら……していた」と言う句は、ルカが初代教会の人々の敬虔な態度を描写するとき使用しています。使徒行伝一章一四節にも「ひたすら祈をしていた」とあります。三章四十六節では「絶えず……し」と訳され、六章四節では「もっぱら……しよう」と訳されています。兎に角熱心に続けてすることを意味しているのです。

○

これらのことが、中心的なこととして熱心に求めているのが、アシュラムであると言えます。初代教会がひたすらにして、あの力強い活動をなしたのです。今日、私たちの教会が真に力強く宣教活動をなすためには、アシュラムに於て、初代教会の信徒たちのなしたことを修練し、それが日常の信仰生活、教会生活に生かされて行くことが、大切だと思えます。アシュラム運動が使命として努力していることが、これでありませうから、ひたすら、聖書に聴き、主にある交わりをなし、祈りをして、キリストの証人として力強い歩みを致しましょう。

アシュラムの社会的責任

海老沢 宣 道

アシュラムは究極の解答を探求する信仰生活の一方法であります。この名称には二つの解釈があります。「ア」は「から」シユラムは「勤勞」の意味で、「勤勞から退修する」ことです。今一つは「ア」には「強める、集中する」という意味があり、従って「勤勞の強化」ということになります。一つは静かに退いて瞑想生活に入り神との靈交を持つことであり、今一つはキリストと教会や隣人に奉仕するために靈的訓練を受けることあります。自己訓練と他への奉仕との二面があることを忘れてはなりません。

アシュラムにおいて個人生活と社会生活とが「神の国の秩序」において完全に調和することを知らされます。そこでアシュラムは神の国を求め運動となるのです。キリストを中心にして、私たちの宗教、文化、経済、国家のあらゆる生活が新しい秩序の下に充実発展されて行くところに、神の国は実現してきます。

つまり「言が肉体となって私たちの間に宿られた」という御言の成就を見ることのできるようになるのです。信仰生活には完全な規律生活を守る必要と、同時に主イエスと十二使徒の如く共同生活の訓練を互に受ける必要とがあります。人々は単に神の国についての説明をきくだけでなく、たとえ小さく不完全な形で神の国を現実に見る必要があります。

アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

マ 啓 十 章 九 節

紹介

国際アシュラムの三本柱  
バーグ、ワグナー、大石の諸師

ビル・バーグ牧師

ウイリアム・バーグ牧師は第一回のエルサレムにおける世界アシュラムから、第二回のインド、そして今回の日本における第三回国際アシュラムでも大会委員長の責任を負って下さる重要人物である。現在はミネソタ州ミネアポリス市のオウガスタナ・ルーテル教会で下町の一十名の会員を牧し、同時に十字路計画の下に周囲の低所得者たち(白黒インディアンの別なく)のために働いておられる。四人の教職と数名の教務係、六人のパパートタイムの十字路事業者(夏期には二十名に増強)たちの指導役をつとめている。同時に多くの執筆著作をし、またエキュメニカル運動のリーダーでもある。実に多忙な人といわねばならぬ。

彼は一九四〇年に中西部ウイスコンシンで開かれたアシュラムに出席してから今日まで引続いてこの運動に加わり、米国アシュラム連盟の理事、また故ジョーンズ博士により任命された四人の指導者の一人になっている。

ビル兄弟は牧師の子としてプリンストンに生れ、イリノイ州のオウガスタナ大と神学校に学び、一九三七年に按手礼を受けて正牧師になった。十数年ロッキアイランドの第一ルーテル教会を牧して

後、同派の伝道部長として米国カナダにまたがる約一千の教会の伝道を推進した。また牧師たちの退修生活を指導し、霊的文書の著作出版の責任を負った。マルタ夫人も度々アシュラムに参加



インドへも同行された。二人の娘は結婚し一人息子ビルは第二回世界アシュラムで父を助けて広報係をつとめた。「スタンレー兄弟の死後、アシュラムの生活と運動を推進する重要人物である」と総主

事ワグナー師は彼のことを評している。「彼は実際的と霊的の両面を兼備した珍らしい人で、彼が人々に主イエスを日毎の救主として従うように呼びかける時には、彼の中から静かな確信が流れ出ている」とも言われる。(写真・右)

ポール・ワグナー牧師

昨年一月、米加アシュラム連盟の総主事(総務理事)に就任した兄弟ポールはメリランド州ダマスカス市にアシュラムの事務所を移し、前任者リチャードソンの氏のおとを受けて、単に米国カナダのみならず、中南米、ハワイ、フィリピン、日本、韓国、台湾、英独仏、スエーデンの各地におけるアシュラム運動の展開のために指導的役割を果しておられる。アシュラムについては長年インドに宣教師として働く間に、スタンレー・ジョーンズと知合い、その提唱による祈禱生活にひかれたというから、恐らく初期からの参加者であつたらしい。

左近義慈氏とクラスメートで結婚式には彼に仲人になってもらったという。学生時代からの親日家で、わが国にも何度か来日され、故賀川豊彦先生とも親交があつたという。マシューズ博士と同様インドに長く働かれただけあって東洋人に対する理解が深く、人格円満で多くの人のため縁の下に力持ちとして米国アシュラムに不可欠の人である。(写真・左)

大石ジョーンズ 嗣郎牧師

大石牧師は父繁治牧師が北米で伝道さ

- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

れていた大正十一年に同家の次男として生れた日系二世で、今日も海外に多くの知己があり、「ジョン・オオイシ」と愛称されている。昭和初期、日本に帰り学業を了えて一度は実業社会に出たのであるが感じる所あり、主の召命を受けて東京神大の大学院を卒業、父の創立した碑文谷教会の第二代牧師となり、それを更に発展させ、近年立派な大会堂を建築された。支区、教区、教団の各種委員となつて奉仕される他、幼児教育の面でも活躍また世界平和運動にも協力、アシュラムには当初から参加して連盟結成時から理事として貢献、ジョーンズ博士の祈りを受けついで日本アシュラムのため二年前からは海老沢の後をついで総務となり、献身的奉仕をしている一人。第三回国際アシュラム開催のため、渡米してバーグやワグナーと会議を開いてきた上、諸般の準備に日夜祈りつつ努力されている。(写真・中央)

国際アシュラムのために  
協賛献金二百万円を募る

別記の通り有力な指導者と多数の海外同志を迎えるため通訳その他諸経費として金二百万円を必要としますので何卒よろしく全国の各地区及び篤志家の御献金を総務局あてお送り願います。

(振替) 東京〇一四五八番、日本クリスチャン・アシュラム連盟あて。

### アシュラム用の歌二つ

#### 一、食前のうた

(モミの木の曲にて)

日々のかてそえて かぎりなき恵み  
みちびきを感謝し、われら今いのる  
平和と愛との みくにの成るため  
心にことばにわぎにぞいそしません。  
アーメン。

#### 二、労作のうた

(讀三八〇番の曲にて)

つちのこもて 勞せし主よ、  
手足に知恵と ころをそえ、  
はたらくこの日 主よ道をぞ  
学ばせたまえ 友とともに。  
アーメン。

以上二曲はジョーンズ博士の作詩、故  
安村三郎氏の訳詩ですが、一部修正しま  
した。また安村氏は労作のうたを讀一九  
一番の曲でうたわせましたが、余りに荘  
重ですから、三八〇(立てよい立て)の  
曲でうたった方がよいと思います。

### 各地区での折禱会

月を追って盛上りつつあり

まず東京では毎月第三金曜日の朝七時  
からの朝禱会に引続いて財務委員が中心  
になって熱心に折り準備を進めている。  
また実務委員会、関東地区委員会も二ヶ  
月毎に召集されて熱心な折りと打合せを  
している。有志はいくつかの教会に出か

けて礼拝後に訴え献金を捧げて頂いた。

また歓迎信徒大会の準備も別記の如く  
に決定、宣伝に努めている。「日本アシ  
ュラム」誌その他を数百名に郵送や手渡  
しをして出席奨励にも力を入れている。

道南では『函館千歳教会だけで孤軍奮  
斗の形ですが、五月三日、六月十八日、  
九月二三日に一日アシュラムを二十数名  
で開き、国際アシュラムのため祈って  
います。』とのこと。

### 第三回国際アシュラム

#### 歓迎信徒大会

時・十月二日(月) 夕六時半

- 所・救世軍エバンゼリンホール
- 司会 関東委員長 横山義孝
- 挨拶 日本側代表 海老沢宣道
- 海外来賓紹介 大石嗣郎
- 立証 日本と米国から各一名
- 独唱 黒田四郎
- 伝道説教 シム・マシューズ師
- 通訳 小出 忍(交渉)
- 献金奨励 池本金三郎

東北では、毎月第一日曜礼拝後、各教  
会で有志による折禱会をし、季刊紙は同  
志に托して毎号百部を配布献金と出席参  
加の奨励にも努力中。第八回の地区アシ  
ュラムを国際アシュラムのあとに開催す  
る予定。

関西では地区委員会が四回、訪伝研修  
会、京阪神三地区の朝禱会でも特に祈っ  
てもらっている。また京阪神の三教会と  
交渉し、折禱会を順次に開く。十六名の  
委員会は手分けして季刊紙その他の配布  
に努力中。募金目標は半分近く、出席  
者の五〇名達成を祈っている。十一月  
二二、二三日第十三回アシュラムを淀川  
善隣館で開催の予定。

中国では去る五月牧師会でポスターそ  
の他各種印刷物を広島市内二三教会に配  
布する手筈をつけ、岡山、福山、呉、山  
口、下関などにも協力を依頼中とのこと  
四国では一月以降毎月第三火曜午後、  
折禱会を委員と有志で守り、献金出席の  
目標達成を期し、季刊紙は三〇部郵送四  
〇部手渡しをしている。朝禱会全国大会  
でも宣伝した。

中部(名古屋)では内村、松原の諸師  
中心になって国際アシュラムのために祈  
り、本紙の郵送、配布、ポスターの掲示  
その他に努め多数の参加者を祈り求めて  
いる。

九州では山本委員長中心に、北九州と  
福岡で委員の折りを結集、国際アシュ  
ラムを通じて日本に大いなる恵みの降るこ  
とを期待している。九月中旬に地区アシ  
ュラムを開催。

#### 速報

G・ハンター師は心臓を患われたが、漸  
次決方に向われている。御加禱を乞う。  
ジョーンズ博士未亡人は去四月初め百  
才の誕生日を祝われたが、六月二三日地  
上の旅路を終えて天に凱旋された。平安  
を祈る。

東京都目黒区中央町1-21-10  
日本クリスチャン・アシュラム連盟  
碑文谷教会気付

### 最新刊

海老沢宣道著

### アシュラムの原則と実際

定価300円 円100円

クリスチャン・アシュラムの創始者・故スタ  
ンレー・ジョーンズ博士の直伝を受けた著者が、  
『日本アシュラム』紙上で約20回にわたり、平  
易に解説してきたものが今回小冊子にまとめら  
れた。各地区で参考書として活用されたい。

日本クリスチャン・アシュラム連盟

土木建築設計施工  
土地分譲建売住宅  
土地付注文建築全般

### 丸留建設株式会社

取締役社長 鈴木留蔵

本社 (274) 千葉県船橋市前原西2-29-14  
TEL 0474 (74) 1251~2  
支店 (275) 千葉県習志野市実籾町3-13  
TEL 0474 (72) 2630

参加者が何度でも読むべきもの  
『アシュラムとは何か』(50円)